南砺利賀みらい留学

はつうま通信

2024年　11月20日　発行

はじめに

11 月 7 日、朝のつどい。テーマは「立冬」。ちょうど、あたたかな日々が続いた前日までに比べ気温がぐっと下がった日であり、起床時刻がすっかり薄暗くなってきたことも交え、「暦上の冬の到来を肌で感じるね」という話題になりました。翌日には早朝の気温が限りなく 0 ℃に近づき、いよいよ本格的な冬が始まる…かと思いきや、数日後には 10℃以上の朝に逆戻り。そんな寒暖差に翻弄されながら、16 日に「第 4 回収穫祭」を迎えました。

農作業や個人体験活動など、留学生が自らの半年間の成果を堂々と発表した収穫祭。そのほぼすべての活動において、地域の皆様方のご理解とご協力が大きな力となり、達成することができました。そして、今回の発表の場に足を運んでくださったたくさんの方に、この場を借りて深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、収穫祭という大きな節目を越え、これからは冬景色の中、活動していくことになります。私事ですが、これまで雪に触れる機会が少なかった私にとって、利賀の冬は未知で不安な世界です。しかし、未知とは恐ろしくも楽しいもの。地域の皆様に学びながら、自分がまだ知らない世界を子どもたちと共に体験できることが、たまらなく楽しみです。

山口　楓雅

【活動日程】

10／26　新そば祭り出演
10／31　センター活動開始
11／2　個人体験活動(～4日)
11／9　収穫祭準備
11／10　干し柿作り
11／16　収穫祭(～17日)
11／18　ホームステイ開始

収穫に
感謝

地元の子も
一緒に

修園生おかえり！

〒939-2516　富山県南砺市利賀村坂上 18
南砺利賀みらい留学センター
TEL：0763-77-4103　／　FAX ： 0763-77-4037
MAIL：nanto-toga-mirai@p1.tst.ne.jp
WEB：http://www.nanto-toga.com/

10／26　新そば祭り出演

利賀村の大きなイベントの一つである新そば祭りに参加しました。午前中、前期生は子ども民謡保存会の一員として、初午などの民謡をステージで披露しました。後期生は、運営本部や売店の手伝いを自主的に行い、県内外から来場した方々に積極的に声をかけ、案内をしていました。

午後には、留学生全員でステージに立ち、日々練習している太鼓や踊りなどの演目を発表。今年度、大勢の人たちを前に発表するのは初めてです。緊張や練習不足で思うように身体を動かすことができず、課題点が大きく残りましたが、全演目最後までやり切ることができました。今回の反省を活かし、より完成度の高い演目になるよう、練習を続けていきます。

11／10　干し柿作り

南砺市内の高田造園さんで、干し柿作りの見学をしました。繁忙期ということで、地域の方がたくさん集まって作業していました。ボタン一つでするすると皮を剥いていくロボット(皮むき機)の様子には、皆興味津々でした。

センターに戻り、留学生も干し柿づくりを行いました。手作業で皮を向き、ひもで結んでからお湯にくぐらせて干していきます。「さっきの皮むきロボット使いたい…」と苦戦している人もいましたが、全員やりきりました。完成を楽しみに干しているところです。

みらい留学農事歴

11/16 田畑:感謝の式

【田んぼ】前号では今年度の収穫量は未定となっていましたが、今回も地域の方にお願いして籾摺りをしていただいたところ、籾摺り後の重量で 180kg と、過去最高の収穫量となりました。
11 月 16 日に「自然への感謝の式」を行い、祭壇に新米で作ったおにぎりをお供えし、その後皆でいただきました。
子どもたちによる作業は、稲架の解体を残すのみとなりました。

【畑】感謝の式で、センターの畑からは、サツマイモや長ネギ、ほうれん草をお供えすることができました。雪が降る前、いよいよ畑も終わりがけですが、サツマイモを焼き芋にしたり、ネギを汁物に入れたりと、恵みを味わっています。

収穫祭

11/16　1日目

第４期収穫祭は、好天の下で開催することが出来ました。午前中は、１年間の田畑の作業やその他で得られた自然の恵みに対し感謝をする「自然への感謝の式」を、留学生とその保護者、受け入れ家庭、職員で執り行いました。田んぼの横に作った祭壇に新米や畑でとれた野菜などをお供えし、留学生が農事報告や自然への感謝の言葉を述べて、皆で収穫を祝い感謝しました。

午後からは来賓や地域の方をお招きし、体験発表を行いました。前半は「子ども民謡保存会」による民謡出演から始まり、留学生が個々に進めてきている「個人体験」の発表、後半では半年間で得た「心の収穫スピーチ」、太鼓や踊りの「演目発表」をしました。

僕は、本番直前まで、個人体験発表がへんなところで間違えないかとても心配でしたが、本番、最後まで間違えなくて良かったです。発表が終わった後の休けいで、学校の先生や友達が「良かったよ」や「おもしろかったよ」と言ってくれて、発表の練習を頑張って良かったなと思いました。個人演目がみんなかっこ良かったので、修園に向けて頑張りたいです。（しゅん）

11/17　2日目

収穫祭２日目は、留学生保護者による模擬店を開催しました。「フランクフルト」やベルギーワッフル」のようなお祭りの定番や「かしわ飯」「あんばやし」などの留学生の出身地にちなんだ出店、射的等が催されました。中でも、「山留生ケンミンクイズ」は大きな盛り上がりを見せていました。

クイズの後には、留学生と修園生、地元児童生徒も入り混じり、太鼓や踊りの演目発表をして、収穫祭の全日程を終えました。

私は収穫祭の個人演目でみかぐらをおどりました。たいこは得意だけどおどりは苦手で、とってもがんばって練習しました。本番はめっちゃきんちょうしたけど、ステージに出ると「がんばってよかったな、楽しいな」と思えました。2日目に修園生の人たちとおどると、「自分はまだまだだな、がんばんなきゃな」と思いました。あと半年、しゅう園に向けてがんばります。（あやね）

保護者だより

この３月までは兄の愛生、４月からは弟の旺希が利賀村でお世話になっており、親子・兄弟揃って利賀愛にあふれる福岡です。いつもありがとうございます。

旺希は幼い頃から人見知り場所見知りが激しく、挨拶さえもできず、いつも私や愛生の後ろに隠れているような子で、母親の私はどうしたものかと悩んだこともありました。

去年兄に会うため利賀へ伺う度に「ボクはずっとママと一緒にいる」と豪語していた旺希でしたが、利賀の地域の方々に触れ、大自然に心動かされ、兄の成長する姿を見てか「ボクも利賀村で生活したい！」とまさかまさかの驚きの発言。「本当に山村留学するの？」と私は何度も尋ね、旺希の心は揺らぐことなく山村留学生活がスタート、春の運動会、金剛祭、そして先日の収穫祭では私の想像を越える成長した旺希を見ることができました。

真剣な表情で踊り、小さな体で一生懸命に太鼓を叩く姿は、コツコツ努力家でがんばりやさんの旺希らしさにあふれていて、とても感動しました。

AI やロボット技術が発展するこの世の中ですが、人との関わりや人の温かさに触れ、心豊かな人に育ってほしいと思っています。民謡や太鼓などの伝統に触れることができる貴重な体験と共に、利賀の豊かな自然の中で心身共に成長し、旺希の内にある才能と個性とたくさんの可能性を利賀のお力を借りて発揮できたらと願っています。今後ともよろしくお願いいたします。

Supporters' Voice

笠原　一忠さん（ 利賀学舎　公務助手 ）

※留学生を見守り、支えてくださっている地域の方から、メッセージをいただきます

子どもたちが使う学校内の環境づくりだけでなく、子ども民謡のうち「はつうま」のご指導など、様々に子どもたちのサポートをしてくださっています。

今、校務助手として利賀学舎で勤務しております笠原です。利賀学舎内では留学生の皆さんとの交流もありますが、令和３年度より始まったこの山村留学の中で、これまで特に印象が強かった子が２人います。一人は、利賀に来て指導員の方と一緒に今では誰も行かなくなった牛首林道をという道路を山村留学センターを出発して起点から終点まで踏破したり、猫池という山の頂上付近の個所にも行ったりとの体験を自分自身で作成した冊子に纏めていた留学生です。それを読んでいると、その時の体験を本当に楽しんでいると思いました。

そしてもう一人は、利賀に居た時に受け入れ家庭があった私の地元（利賀上村地区）の春祭り（獅子舞）に参加してくれました。留学生を終えて地元に戻った後でもわざわざ春祭りに２年連続来てくれています。

二人とも利賀に居た時に本当に利賀にいる事を満喫していて、またそのあとも忘れないでいる事に、有難く、そしてこれからもいつでも遊びに来て欲しいと思っています。

みらい留学　定地定点

※留学生は利賀の四季を体感する定「地」定点観測のため、毎朝外に出て「朝のつどい」を行っています。朝のつどいでは、自然にまつわる声かけを指導員からひとつ。記録の一部を紹介します。

１１／９（土）　晴れ　気温：１℃　【ムラサキシキブ】

- 秋に紫色の実を付ける木。
- 実は食べられない。でも美しい！

１１／１０（日）　晴れ　気温：１℃　【柿】

- 渋柿→甘柿　干しているうち、渋みを感じさせるタンニンが溶けないものに変化し、甘味だけを感じられるようになる。ちなみに南砺には、特産の三社柿という品種がある。

干し柿作りの活動も
三社柿を使って行いました！